

令和3年4月28日

広島県知事様

住所 〒739-0692  
広島県大竹市小方1丁目11番1号  
団体名 大竹市  
代表者氏名 大竹市長 入山 欣郎 印

広島県温暖化対策活動促進補助金交付提案書

広島県温暖化対策活動促進補助金の交付を受けたいので、広島県温暖化対策活動促進補助金交付要綱第7条の規定に基づき、関係書類を添えて提出します。

1. 交付を希望する事業の内容

(1) 事業名

環境学習事業
--------

(2) 事業実施主体

	名称	所在地
(団体)		
(市町)	大竹市	大竹市小方1丁目11番1号

別紙1 (様式第1号)

(1) 事業内容

目的	(活動を行う目的, 意義, 効果等を簡潔に記入してください。) 地球温暖化について学び、市民や生徒・児童が自分たちにできる温暖化対策活動を考え実践し、発信してもらう。			
活動形態	※該当する□を塗りつぶしてください。 ■ 普及啓発                      □ 調査研究			
補助対象事業期間	※最長3年間 令和3年6月1日～ 令和6年2月28日			
補助期間中の事業計画	1年目： 地球温暖化について学習する			
	イベント名 調査研究名	内 容	参加人数 (予定)	予算額
	うちエコ診断	公民館と共同し、公民館で行われるイベントのうちエコ診断の普及啓発を実施	50人	45,000円
	SDGs 地球温暖化学習会	市民を対象にしたSDGs・温暖化についての学習会を開催	40人	40,000円
	温暖化対策研究視察	市内の生徒・学生を対象にした温暖化対策の先進的な取組の視察を実施 (予定視察先：大崎クールジェン株式会社)	25人	375,000円
	エコ工作教室	市内の親子を対象に温暖化対策について学ぶきっかけとなるような工作教室を実施	15組30名	80,000円
	2年目： 市民による温暖化対策活動を考え、実践する			
	イベント名 調査研究名	内 容	参加人数 (予定)	予算額
	うちエコ診断	公民館と共同し、公民館で行われるイベントのうちエコ診断の普及啓発を実施	50人	45,000円
	温暖化対策啓発取組み視察研修	市民団体が市内の温暖化対策啓発の参考になる取組みの視察を実施	25人	250,000円
	温暖化対策取組み検討ワークショップ	市民団体が自身で行える啓発活動について検討するワークショップを開催		50,000円
	温暖化対策啓発教室	市民団体が、市民や生徒児童等に対し、温暖化対策を広める教室を実施	75人	150,000円
	3年目： 児童・生徒が自ら温暖化対策活動について考え、発信する			
	イベント名 調査研究名	内 容	参加人数 (予定)	予算額
	うちエコ診断	公民館と共同し、公民館で行われるイベントのうちエコ診断の普及啓発を実施	50人	45,000円

	温暖化対策教室	市内の児童・生徒（ジュニアリーダー）に対し、温暖化対策について学ぶ講座を開催	40人	40,000円
	温暖化対策取組み検討ワークショップ	ジュニアリーダーが自身が何を調べ、どのように啓発していくか検討するワークショップを実施		50,000円
	温暖化対策施設視察研修	上記ワークショップで自ら決めた施設等を訪れ、啓発に必要な知識・情報について学ぶ視察研修を実施		300,000円
	啓発冊子作製	上記ワークショップ、視察研修などで学んだこと等を冊子にまとめ、市民に配布する		50,000円
	温暖化対策啓発ブース設置	上記ワークショップ、視察研修などで学んだこと等を、コイ・こいフェスティバルにて啓発するブースを設置する	1,000人	100,000円
補助期間終了後の計画	作成した啓発冊子等を作成し、市内外に広く温暖化対策の実践方法を啓発市民団体の取組みとして、温暖化対策教室の実施を根付かせ、持続的な啓発活動を実施してもらう。 市内の児童・生徒による温暖化対策の学習・啓発の取組みを継続し、特にコイ・こいフェスティバルや大竹会館祭り等のイベントで啓発ブースを設置し、広い世代に対し発信する取組みを補助する。			
効果	(成果目標。活動の実施により期待できる効果を記入してください。)			
	CO2 排出削減量	参加者が実施する直接的な削減量を記入してください。 <u>420,700 Kg-CO2</u> (内訳) 普及啓発人数1,370人(うち成人730人)×啓発する以下のテーマごとの意識変容率(%)×行動変容係数×CO2 排出原単位(t-CO2/人)×1,000		
		テーマ	意識変容率% 過年度平均値	行動変容係数
省エネ家電		25.8	0.24	1.62
クールビズ		39.6	0.73	0.023
ウォームビズ		39.6	0.73	0.018
照明の効率的利用		25.8	0.24	2.81
エコドライブ (成人のみ)		39.6	0.73	0.131
食品ロス		79.0	0.43	0.0015
その他効果	「地方と連携した地球温暖化対策活動推進事業」(一般社団法人地域循環共生社会連携協会)CO2削減量計算表より算出 参加者以外への普及効果等を記入してください。 啓発冊子等による市内全域への啓発 児童生徒への啓発により、家庭へも実践活動が波及			
(複数年次に亘る活動の実施より期待できる効果をできるだけ具体的に記入してください。)				
≪変化≫ (事業前) →大竹市内で温暖化対策に取り組んでいるのは環境に関心がある人のみ (事業後) →大竹市内で環境学習事業参加者が温暖化対策活動に取り組むようになり、また、温暖化対策活動について啓発・発信を行うようになる。 (将来像) →大竹市全体で温暖化対策活動に取り組む、活動を発信できるようになる。				

別紙2 (様式第1号)

事業費	(事業年度別に記入してください。)			
	令和3年度	540千円	<input type="checkbox"/> 実施済	事業運営費明細書 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	令和4年度	495千円	<input type="checkbox"/> 実施済	事業運営費明細書 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	令和5年度	585千円	<input type="checkbox"/> 実施済	事業運営費明細書 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	合計	1,620千円		

《事業運営費明細書》

令和3年度分

(単位:円)

		予算額 (消費税込)	明細 (内容, 単価, 数量等)
収入	自己資金	40,000	
	寄付金		
	本補助金	500,000	
	その他助成金等		
合計		540,000	
支出	補助要望経費		
	事業費(物品・使用料等)		
	謝金・賃金・旅費	70,000	<b>【SDGs 地球温暖化学習会】</b> 講師謝金 20,000円×1名 講師旅費 往復10,000円×1名  <b>【エコ工作教室】</b> 講師謝金 20,000円×1名 賃金 2,500円×2名=5,000円 講師・スタッフ旅費 往復5,000円×3名=15,000円
	事業費(物品・使用料等)	430,000	<b>【うちエコ診断】</b> 啓発教材費 900円×50個=45,000円 (エコタップを予定)  <b>【SDGs 地球温暖化学習会】</b> 資料印刷代 5,000円 チラシ作成代 5,000円  <b>【温暖化対策研究視察】</b> フェリー代 20,000円 高速代 15,000円 バス借り上げ代 300,000円 保険料 5,000円 資料印刷代 5,000円 チラシ作成代 5,000円

			<b>【エコ工作教室】</b> 啓発教材費 1,000円×15個=15,000円 (工作用小型太陽電池を予定) チラシ作成代 5,000円 資料印刷代 5,000円
	小 計	500,000	
自己資金等		25,000	<b>【温暖化対策研究視察】</b> 参加者食費 1,000円×25人=25,000円
		15,000	<b>【エコ工作教室】</b> 消耗品 15,000円
	小 計	40,000	
合 計		540,000	

※複数年度分を記載する場合は、適宜複写して使用してください。

別紙3（様式第1号）

(1) 提案事業の実施体制

省略

(2) 事業終了後の取組の継続

継続した取組の内容	環境学習事業 地域課題解決の見通し, 実施内容, 実施方法等を記入してください				
事業期間	令和6年4月～9年3月頃				
会議体, 実施体制	継続予定 会議体の継続, 支援者や参加者の増加見込み等について記入してください				
収支見込み	収支見込 (千円)				
		6年度	7年度	8年度	合計
	収入	1,930	1,930	1,930	1,930
	支出	1,930	1,930	1,930	1,930
事業終了後3年分を記入してください。					
資金調達, 人材確保等	大竹市公衆衛生推進協議会からの人員協力 資金, 人材の確保, その課題等について記入してください				
情報公開	大竹市HP 大竹市広報誌				

(3) 団体の概要

省略